

* 2002年4月22日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

[ご参考]

ザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループ、 2002年第1四半期の業績を発表

経常利益は16%増加
日本における変額年金保険の販売額は対前年比で84%増加

[米国 コネチカット州ハートフォード 2002年4月22日]

国際的な大手保険および金融サービス会社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループ (NYSE 略称: HIG、以下「ザ・ハートフォード」) は本日、2002年第1四半期 (2002年1-3月期、以下「当四半期」) の業績を発表し、当四半期の経常利益*が前年同期の2億5,300万ドルから16%増加し、2億9,300万ドルに達したことを明らかにしました。

これは、生命保険事業が力強い成長を遂げ、損害保険事業も2桁の伸びを記録したほか、前年同期に実施された1,000万ドル (税引後) の営業権償却を今期は実施していないことによるものです。

日本で事業を展開しているザ・ハートフォードの子会社、ハートフォード生命保険株式会社では、当四半期における変額年金保険の販売額 (収入保険料ベース) が前年同期を84%上回り、180億円を突破しました。2000年12月の営業開始以来丸1年が経過し、2002年3月末までの累計販売額は750億円を突破しました。

ハートフォード・ライフの社長兼最高業務責任者であるトーマス・A・マラーは次のように述べています。「日本市場は、今年秋に銀行による変額年金保険の窓口販売が解禁される見通しで、今後の成長が大きく期待されます。当社は、米国では銀行を通じた変額年金の販売においてナンバーワンの実績を持っており、日本においても銀行窓販解禁は販売チャネル拡大の大きなチャンスになると考えています。」

ザ・ハートフォードの当四半期の業績には、すでに発表されているハートフォード・ライフのバンコプ・サービスに対する訴訟関連費用1,100万ドル (税引後) が算入されています。なお、同費用は2001年9月11日に発生した同時多発テロ事件で、ハートフォード・ライフの準備金の関連で適用された800万ドル (税引後) の税優遇効果によって部分的に相殺されています。

* 経常利益には税引後の正味実現キャピタル・ゲイン (ロス) と会計方針の変更による累積的な影響は含まれていません。

ザ・ハートフォードの会長兼最高経営責任者であるラマニ・アイアーは次のコメントを発表しました。「当四半期は高水準の営業実績と有利な気象条件が業績に反映されています。生命保険事業では経常利益が堅調な伸びを示し、特に個人生命保険と団体生命保険が2桁の伸びを達成しました。さらに、企業保険の引受業務がとりわけ好調だったほか、損害保険事業では特殊保険と再保険業務の改善により経常利益が大幅に増加しました。」

さらにアイアーは次のようにコメントしています。「堅調な業績は、当社が推し進めてきた事業多様化の効果が表れてきたためであると考えています。これにより、当社は損害保険事業を取り巻く環境が急速に変化し、株式市場が不安定な動きを見せているにもかかわらず、変化に迅速に対応して経常利益の拡大を達成する体勢が整ってきました。当社では2002年以後も増益を達成することを確信しています。」

営業権償却を行わないという新会計基準を2001年第1四半期にも適用していた場合、調整後の当社の2001年第1四半期における経常利益は2億6,300万ドルとなるため、当四半期の経常利益は実質的に前年同期比で11%増加したことになります。

当四半期の純利益は前年同期の2億4,000万ドルを22%上回る2億9,200万ドルに達しました。前年同期は1,000万ドルの税引後の実現キャピタル・ゲインが計上されていますが、当四半期には逆に100万ドルの税引後の実現キャピタル・ロスが計上されています。このほか前年同期には、金融派生商品に対する新会計基準が導入されたことに伴い、2,300万ドルの税引後費用が計上されています。

当四半期における生命保険事業の経常利益は前年同期の1億6,100万ドルから10%増加し、1億7,700万ドルに達しました。当四半期の米国における変額年金保険の販売額については、前年同期比6%減の22億ドルとなっていますが、2001年第4四半期からは6%の増加となっています。また北米地域で事業を展開する損害保険事業の経常利益も14%増加し1億2,200万ドルを計上しています。

総資産および株主資本

2002年3月31日現在、ザ・ハートフォードの総資産は前年同期比12%増の1,849億ドルとなっています。また、運用資産残高(投資信託資産を含む)も前年同日比で15%増加して2,026億ドルとなりました。2002年3月31日現在、未実現損益を除くと当社の1株当たり簿価は、前年同日の32.85ドルから6%増加し34.95ドルに達しています。

* * *

ザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービスズ・グループ(NYSE略称:HIG、以下「ザ・ハートフォード」)は米国でもっとも由緒ある国際的な大手保険および金融サービス会社の一つであり、2001年の総収入は151億ドルを計上しています。2002年3月31日現在、当社の総資産は1,849億ドル、株主資本は90億ドルに達しています。ザ・ハートフォードは、投資金融商品をはじめ、各種生命保険、団体生命保険、自動車保険、住宅保険、法人向

け損害保険のほか、再保険などを提供しています。ハートフォード生命保険株式会社はザ・ハートフォードの子会社です。

ザ・ハートフォードに関するより詳細な財務情報の入手をご希望の方は、当社のホームページ(www.thehartford.com)にアクセスして The Hartford's Investor Financial Supplement のページをご覧ください。

このリリースに記載された一部のステートメントは、1995年私募証券訴訟改正法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において定義されている予見的情報(forward looking information)であるとみなす必要があります。当社は、投資家の皆様にこのような予見的ステートメントが将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は大きく異なる可能性があることをお断りします。投資家の皆様は、当社の事業に係わるリスクと不確実性が将来の業績に影響を及ぼす可能性を考慮することが求められます。こうしたリスクと不確実性については、皆様が入手可能な文書、例えば当社の年次報告書、SECに提出した文書等に記載されています。またこうした不確実性には、9月に発生した同時多発テロ事件に伴う被害の実態や額が予測できないこと、その他新事実の発覚、再保険契約下での再保険会社の今後の対応、再保険料の上昇がもたらす影響、予想以上の損失を被る可能性、経済および経営環境が予想よりも悪化する可能性、金利または株式相場変動の可能性、予想以上に競争が激化する可能性、当社にとって不利な法律の制定や司法判断の可能性および自然災害が予想を超える頻度または深刻度で発生する可能性などが含まれます。なお、当社では、発表当日後における本リリースの内容改訂については義務を負っていません。

<この件に関するお問い合わせ先>

ハートフォード生命保険株式会社
社長室 課長
ブルース・エルズワース(日本語可)
電話: 03-5777-8083
bruce.j.ellsworth@hartfordlife.com

ギャビン・アンダーソン・アンド・カンパニー
笠原佳世 / 宮川真理
電話: 03-5404-0640
kkasahara@gajapan.co.jp / mmiyakawa@gajapan.co.jp